

平成 21 年度再評価対象事業一覧表 (事業採択後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)	備考
4	基山町流域関連 公共下水道事業 (宝満川上流処理区) 事業主体： 基山町 事業地： 基山町	基山町は佐賀県の東部に位置し、北・西・東の3方は福岡県の筑紫野市・小郡市に隣接し、南は鳥栖市に隣接する。 本町は、団地開発による人口増加及び企業による工場排水の増加が著しく、秋光川をはじめとする河川等の水質が悪化する中、平成7年度に生活環境の改善を主たる目的として「基山町公共下水道全体計画」を策定したが、処理場用地確保が困難となり、事業着手が厳しい状況となった。 このような状況下で、汚水処理整備に対する地元住民からの要望も高まり、下水道の早期整備による生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図るため、隣接する福岡県の宝満川上流流域下水道への接続が位置づけられた。宝満川水系の水質保全の点からも早急な下水道整備が求められており、現在、鋭意事業を進めている。	全体事業費 204.3 億円 整備目標年度 H31 事業内容 ・計画面積 (全体計画) 541.2ha ・計画人口 (全体計画) 22,500 人	下水道処理人口普及率 (H20 末) 46.64% 整備済面積 191.4ha (35.3%) H20 末事業費進捗率 23.01% (47.0/204.3) 単位：億円	厳しい財政状況の中、コスト削減を図りながら事業を進めている状況にある。 (宝満川上流処理区) 費用便益比(現在価値比較法) B/C = 49,790 / 28,280 = 1.76 便益(百万円) 生活環境の改善 23,929 便所の水洗化 25,861 合計 49,790 費用(百万円) 28,280	事業採択時と比較し、費用対効果の要因の大きな変化はない。	(コスト削減) 小口径塩ビマンホールの採用により、コスト削減を図っている。 (代替案の検討) 本町における汚水処理施設の整備手法としては、公共下水道による方法が最適である。	10 年以上継続	継続 (理由) 基山町は、平成12年度から公共下水道事業に着手し、工事が完了した地区から、順次供用開始しており、平成20年度時点の面整備率(全体計画面積に対する整備面積)は約35%、処理人口普及率(計画人口に対する処理人口)は約47%となっている。 事業の内容について、下水道事業推進に対して支障となるような大きな変化(社会経済情勢、自然環境条件、地元情勢等)はなく、地域住民の理解や協力も得ながら、順調に整備を進めている。 生活環境の改善、公共用水域の水質改善に寄与していること、コスト削減に努めていること、費用便益比が1.0を上回ることから費用対効果があるものと考えられ、「事業継続」の対応方針とする。	

